

直言

先日、文部科学省が「トイレ発！ 明るく元気な学校づくり!! 学校トイレ改善の取組事例集」を発表した。小中学校トイレの環境改善に向けた先進的な自治体の改修工事事例をまとめたものだ。なるほど」という事例もある。市会議員3期の私はトイレ総点検をはじめ、臭い消しや洋式便器の導入など、「3K(汚い・臭い・暗い)」と言われる小中学校トイレの改善に取り組んできた。他党議員から「トイレ議員」と揶揄されたこともある。だが、子ど

進めたい！ 学校トイレの改善

もたちがトイレ使用を我慢し、健康を損ねてしまうくらいなら、こつした冷やかしても善い(よし)ですらある。

多くの公明党地方議員が財政状況の厳しい中、知恵を出しながら悪戦苦闘しているはず。事例集が「学校トイレが、学習の場、生活の場である学校としてふさわしい快適な環境で、長く使われ続けることが望まれます」と明記したことは施策推進への大きなチャンスだ。

改善は「トイレに行くのが恥ずかしい」と考える子ども意識改革にもつながる。地方議員が時を逃さず、地域の小中学校トイレ改善を大きく前進させたい。(S)